

高速道路を東総へ

第2回銚子連絡道路整備促進地区大会を開催

銚子連絡道路（松尾町～銚子市間の約30km）全線が、一日も早く事業化されることを目指して、6月4日光町体育館で第2回銚子連絡道路整備促進地区大会が開催されました。



銚子連絡道路の早期実現に向け、多くの関係者が集まりました

大会には、沼田武県知事をはじめ、林幹雄運輸政務次官や小川洋雄県議会議長、国・県の議会議員、建設省からの来賓を招き、関係者約1200人が会場を埋めました。

大会を主催したのは、銚子連絡道路沿線に位置する山武・東総地域17市町村とその議会で構成している「山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会」で、同盟会を代表し加瀬五郎旭市長があいさつ。続いて向後肇光町長から大会決議（要望案）が発表されました。

今回の決議に基づき6月14日、国や関係機関に次の要望書が提出されました。

要望内容（要旨）

- 一 松尾町～光町間を一日も早く完成させるよう、事業の促進を図ること。
- 一 光町～銚子市間を調査・整備区間に指定し、事業化を図ること。
- 一 円滑な交通の確保のみならず、多様な機能を果たし、地域を支える総合的な社会基盤である道路の整備を促進すること。
- 一 道路整備を積極的に推進するため、道路特定財源を堅持し、財源の投入を大幅に拡大すること。なお、道路特定財源を全額道路整備に投入すること。
- 一 平成12年度道路予算の大幅な拡大確保を図ること。

【銚子連絡道路の経緯】

銚子連絡道路は、松尾町～銚子市間の約30kmの地域高規格道路を整備するもので、平成6年12月に計画路線として指定を受けました。その後千葉東金道路と接続

する一部区間の「松尾町～光町間」約6kmが平成9年度から事業化され、現在は（仮称）光インター整備に向け用地買収が進められています。



大会決議を発表する向後町長